

慶應義塾大学楽友三田会関連団体『楽友三田会歩こう会』
第71回楽友三田会 Walking の会 開催のお知らせ

「信玄ゆかりの地 甲州を歩く」

＜開催のおしらせ＞

2019年10月13日(日) 14日(月)

13日午前 10時30分集合 場所: 中央線 塩山駅 南口

宿泊: 東横イン甲府駅 南口2

今年の10月ウォーキングは例年と異なり、1泊2日の遠征となりました。信玄公ゆかりの地、甲斐の国を歩きましょう。13日(日曜日)は甲武信ヶ岳を源流とする笛吹川の溪流、西沢溪谷を歩きます。14日(月曜日)は勝沼ぶどう郷駅を出発し、再び勝沼ぶどう郷駅に戻ります。途中、たくさんのワイナリーがあり、試飲もできそうですが、、、お気に入りのワインを買って帰路につきましようか。新宿から電車に乗れば2時間ほどで到着する近場であります。皆様のご参加を楽しみにしています。

10月13日(日曜日)中央線 塩山駅 南口 10時30分集合



塩山駅 南口

- 新宿 08:30→塩山 9:59
(JR特急かいじ1号甲府行)
- 横浜 07:59→東神奈川 08:02→
八王子 09:03 発 09:07→塩山 9:59
- 豊橋 06:40(JR新幹線ひかり 500
号・東京行)→新横浜→八王子(か
いじ1号)→塩山 9:59

→10:45 西沢溪谷へ (塩山タクシー 利用予定)→11:15 西沢溪谷到着
(塩山駅近くにコンビニなし。各自前もって昼食を用意してください)

西沢溪谷

甲州(山梨県)、武州(埼玉県)、信州(長野県)の三国にまたがる**甲武信**ヶ岳(2475m)は三方に流れる川を源流にもつ。一つは東京湾に注ぐ荒川、一つは笛吹川でやがて富士川となり、駿河湾に注ぎ、一つはやがて信濃川となり日本海にそそぐ千曲川。西沢溪谷はその中の笛吹川の源流域。私たちはその距離およそ10kmを歩く。しかし、行程は必ずしもすべてが平坦な道ではないので、あまり無理はしない。



甲武信ヶ岳に源を発する笛吹川(富士川)
甲武信ヶ岳は他に荒川、千曲川(信濃川)の源流域



さて、どこまで歩けますか

西沢溪谷(塩山タクシージャンボ利用予定)15:00 発 → 恵林(えりん)寺 15:25



恵林寺

乾徳山(けんとくさん)恵林禅寺の沿革

恵林寺は臨済宗妙心寺派の名刹である。元徳2年(1330)に、甲斐牧ノ庄(かいまきのしょう)の地頭職(じとうしょく:領主)をつとめていた二階堂出羽守貞藤(にかいどうでわのかみさだふじ:道号は道蘊 どううん)が、夢窓国師を招き、自邸を禅院とし創建しました。

武田信玄の尊敬を受けた美濃の快川(かいせん)和尚の入山で寺勢を高め、永禄7年(1564)には、信玄自ら寺領を寄進し当山を菩提寺と決めました。

天正4年(1576)4月、遺言通り三年間の秘喪の後、武田勝頼は快川国師の導師のもと、父信玄の盛大な葬儀を厳修しました。しかし天正10年(1582)3月、勝頼は時運を味方につけることができず天目山下に自刃、甲斐武田氏は滅亡しました。同4月3日、恵林寺は織田信長の焼き討ちにあい、快川国師は「安禅必ずしも山水を須(もち)いず、心頭滅却すれば火も自(おのずか)ら涼し」と言葉を残し、百人以上ともいわれる僧侶等とともに火に包まれました。

同6月3日、「本能寺の変」によって信長が斃れて後、徳川家康の手により復興され、また徳川五代将軍綱吉の時代に甲斐国主となった柳沢美濃守吉保の庇護で寺運は発展、柳沢吉保嫡男の吉里の代に柳沢家は奈良大和郡山に転封となるも、吉保夫妻は恵林寺を菩提寺として霊廟をもうけました。

恵林寺ホームページより

恵林寺 16:00 → 徒歩 → 塩山駅 16:55 発 → 甲府駅 17:16 → 東横イン 17:25
 → 打ち上げ会場 18:30



打ち上げ終了 20:30 → 東横インへ

10月14日(月曜日)

東横イン出発 8:15 → 甲府駅発 08:33 → 勝沼ぶどう郷駅着 9:05
 勝沼ぶどう郷駅で荷物を預ける



勝沼ぶどう郷駅出発 9:15 → 大善寺 10:15

大善寺

行基草創の伝説を伝える真言宗の古刹。古代三枝氏、鎌倉幕府、甲斐武田氏の庇護を受け、平安時代から江戸時代に及ぶ多くの文化遺産を伝える甲州を代表する寺院のひとつ。



大善寺

大善寺 10:30 → 11:00 トンネルワインカーブ



勝沼トンネルワインカーブ

明治 36 年に建造され、そのままの姿をとどめている JR 旧深沢トンネルを利用したワイン貯蔵庫。レンガ積みみの 1,100m のトンネルは鉄道文化の遺産としても貴重で、ワインの付加価値も高めている。年間を通じて

温度 6~14℃、湿度 45~65% のトンネル内は、ワインの長期熟成にも最適な条件。



トンネル内貯蔵庫

トンネルワインカーブ 11:15 → 12:15 昼食 ほうとう処いしはら



ほうとうを食べたいのですが、このお店は予約ができない。うまいかなかったら
近くのコンビニ(デイリーヤマザキJA甲州勝沼店)でお弁当を買う。

13:30 出発 → ワイナリーを巡りながら → 宮光園(みやこうえん) 14:30



さあ、どこのワイナリーを訪問しましょうか。

(○で囲んだところにワイナリーが集中)



宮光園



宮光園はワイン産業の先覚者・宮崎光太郎が自宅に整備した、宮崎葡萄酒醸造所と観光葡萄園の総称。明治10年に設立された、日本初のワイン醸造会社である大日本山梨葡萄酒会社が明治19年に解散した後、醸造器具等一切を引き継いで、フランスでワイン造りを習得した土屋龍憲とともに甲斐産葡萄酒の醸造を開始した。宮光園には宮内省御用達だった当時の皇族の行啓、行幸の様子が見られる貴重な写真や、ワイン醸造や観光葡萄園に関する数多くの資料などが展示されている。

宮光園には宮内省御用達だった当時の皇族の行啓、行幸の様子が見られる貴重な写真や、ワイン醸造や観光葡萄園に関する数多くの資料などが展示されている。

宮光園(みやこうえん)14:30 → 原茂(はらも)ワイン 14:50



原茂(はらも)ワイン 15:30 → 勝沼ぶどう郷駅 16:10 解散



勝沼ぶどう郷駅 上り電車新宿方面

16:30 → 17:51 新宿JR 特急かいじ 18号
3560円

17:09 → 18:55 JRホリデー快速ビュー山梨号
1980円

勝沼ぶどう郷駅 横浜方面

16:30 → 八王子 → 18:26 横浜 3000円

17:09 → 八王子 → 19:21 横浜 1980円

14日は皆さんの疲労度を斟酌しながらのウォーキングになりそうです。

状況によってはスルーするポイントが出てくるかもしれません。また、逆にどうしても寄りたいなど思う場所が見つかるかもしれません。そのあたりは臨機応変にコースの変更をしましょう。昼食に関しても、まだどこにするか、最終的な場所が決まっています。「ほうとう処いしはら」がよいかなど考えていますが、予約が取れません。

この日のルートにはぶどうの丘へのウォーキングコースは入っていませんが、帰路余力のある方は迂回して、この丘を通り勝沼ぶどう郷駅に向かうのも一案でしょう。



ぶどうの丘からの眺め

ぶどうの丘

360度ぶどう畑に囲まれた、ぶどうとワインのサンクチュアリ。一面に広がるぶどう畑の小高い丘のてっぺんにぶどうの丘がある。季節ごとに彩りを変えるぶどう畑の風景にしっくりなじみ、“ぶどうとワインのまち・勝沼”のシンボルとなっている。地下のワインカーヴ(貯蔵庫)には年2回の審査会をパスした甲州市推薦の約200銘柄のワインが並ぶ。

「富士の国山梨」のホームページよ

14日のウォーキングは 青線、うすい茶色線、濃い茶色線の一部を歩きます



確認注意事項

- 宿泊: 東横イン甲府駅 南口2 山梨県甲府市丸の内2-3-2 TEL 055-223-1045
- 13日の西沢溪谷への移動は塩山タクシーのジャンボタクシーを利用する予定です。
- 13日 18:30~の甲府駅近くでの打ち上げ会場は未定です。
- 用意するもの
 - 靴: 日ごろ履きなれた通常のウォーキングシューズ
 - 水分補給用飲料水、雨の対策具
- 本会は無理をしないことを第一の旨としています。天候不順などの際は会の開催を見合わせたり、または延期することがあります。
- この案内はまだ不確定な点があります。追加のメールが届くかもしれません。お気を付けてください。
- 開催期日が迫っております。できるだけ早めに出欠のメールを送ってください。

以上